

佼成学園中学校・高等学校

Homepage



「男子×グローバル」の新コース誕生 グローバルリーダーを育成する



from the School

榎並紳吉校長

本校で自分の得意なことを見つけ、「人間力」の器を大きく育ててほしい。



上/モンゴルでの異文化体験プログラム。ゲルでの宿泊や独特な文化を持つ現地の生活を体験する。



左/タイ・フィールド実践プログラムでは、現地の中学生と交流する。



上/国際交流委員長で英語科の小塩雅一先生。
右/世界平和を実現させる人材を育成する「グローバルコース」が新設される。国際系学部や海外大学への進学を目指す。



左/マニラ平和学習では、現地の子どもたちと一緒に、住んでみたい地球の姿について考えてプレゼンテーションを行う。

右/学習ツールとして1人1台iPadを持ち、オンライン英会話などにも活用する。



海外や国際系の大学への 進路を拓く「新コース」

モンゴルをはじめとするアジア諸国や欧米など、佼成の世界的なネットワークを活用した、グローバルリーダープロジェクト（以下、GLP）に取り組んできた佼成学園中学校・高等学校が、2021年度、新たに「グローバルコース」を開設する。

榎並紳吉校長は、新設の理由と目的を次のように説明する。
「4年前、異文化体験、語学研修、平和学習を軸に、課外授業としてスタートしたGLPの人氣が非常に高く、志願者が年々増えたことから、グローバル教育に特化した新コースを、中学と高校に同時開設することになりました。『平和な社会の繁栄に役立つ若者の育成』が本校の建学の精神。新コースでは中高6年間を通じて、真のグローバルリーダー育成を目指し、その土台となる人間性・人間力の器を大きくするための、多様な教育プログラムを提供していきます」

中学・高校ともに「グローバルコース」は、学年1クラス（定員35名）を予定。中学は「グローバルリーダーになるための素養を磨く」時期と位置づけ、GLPで特に好評だったモンゴル、フィリピン、タイで行った異文化体験海外プログラムを用意するほか、探究学習を盛り込んだグローバル教養講座や、使える英語の強化を図る授業を拡充させる方針だ。

国際交流委員長で英語科の小塩雅一先生は、「GLPを振り返ると、中学生はやはり実践的英語力が足りません。そこで、スピーキング力などのレベルアップを目指し、ネイティブ教師の授業率を高くするほか、iPadを使ったオンライン英会話レッスンも導入します」と語る。

同校のグローバル教育の特色である、海外のフィールドワーク体験の事前学習・事後学習も、新コースでは、渡航先の国が抱える課題と背景について、探究をより深化させつつ、国際的教養を育成する。

体験に重きを置く中学に比して、高校は学習ベースのプログラムが中心になるが、魅力的な海外フィールドワークや、留学システムも数多く用意している。なかでもアメリカの大学訪問や現地の企業家との交流を通して、グローバル社会の多様な視座と、海外で活躍する手法を学ぶボストン研修は、海外大学や国際系学部への進学を促す好機となるに違いない。

School Data

〒166-0012
東京都杉並区和田2-6-29
☎03-3381-7227
<https://www.kosei.ac.jp/boys/>

- 創立 1954年
- 交通 東京メトロ丸ノ内線「方南町」駅から徒歩約5分

コアネットの目

社会の変化に柔軟に適應できる人材を育てる積極的なICT活用 ▶ 生徒1人1台のiPadを他校に先駆け導入し、校内にはICTを活用した学習が根付いている。だからこそ、対面授業ができない状況下でも対応は非常に柔軟だ。オンライン授業への切り替えを早々に決断し、準備も実践もしっかりと行った。このような姿勢・環境のもと、生徒は予測不能な社会にも柔軟に適應できる人材へと育っていく。